

応援します！中山間地域

鳥取環境大学学生サークル

「MAB (中山間地域応援隊)」

産直市へいらっしやいませ

毎月第3日曜日の午前中に市役所本庁舎前で野菜の産直市が行われています。のぞいてみると、どれも100円程度の安い値札。生産者の顔写真入りメッセージや無農薬野菜という言葉が目を引きま

ご近所さんや市役所にこられたお客さんが足を止めています。

販売しているのは、緑、黄色、オレンジ色など緑黄色野菜を連想させるつなぎ服姿の若者たち。今年で結成6年目をむかえる鳥取環境大学学生サー

クル「MAB (中山間地域応援隊)」のみなさんです。

MABは、過疎化の進行で活力が失われている中山間地域を、若い力で応援しようと平成16年に8人のメンバーでスタートしました。

活動内容は、田植え、農産物の収穫、出荷など中山間地域の農家を支援することなら何でもしますが、やはりメインは産直市。産直市は、MABが中山間地域の農家から野菜を預かり、農家に代わって市内中心部で販売するというもの。この日も6人のメンバーが参加しました。



谷口 佑也 さん
Yuya Taniguchi



向山 太郎 さん
Taro Mukaiyama



藤田 桂介 さん
Keisuke Fujita



水根 一也 さん
Kazuya Mizune

僕たちがやらねば！

「昨年末から市役所本庁舎前で野菜を販売しています。それ以前は城下町とつとり交流館『高砂屋』で販売していました。市民のみなさんに僕たちの活動をもっと知っていただいて、中山間地域の活性化につながればと考えています」と語るのは、リーダーの向山太郎さん。野菜が熱さで萎れないように、霧吹きで水やりの手を休めません。この日の気温は30度を超える真夏日。たまたま、谷口佑也さんが新聞紙を水で濡らして野菜



小谷 彰博 さん
Akihiro Kodani



花田 卓也 さん
Takuya Hanada

の上から被せました。「農家から預かった大事な野菜です。元気な状態で販売したい」と谷口さんは細部まで気を使います。産直市の野菜はすべて農家からの預かりもの。売れ残れば農家へ返します。「普通のアルバイトと違って、気負いがあります」と語る水根一也さんは主に販売を担当しています。「小学生のとき、四国のおじいちゃんのところへ稲刈りの手伝いにいった思い出があります。わらのカスが体についてかゆくなったのを覚えてい



いなば ぴよんぴよんネット



アナログ 2ch デジタル 11ch

《8月の番組ガイド》

.....鳥取市行政番組.....

『こんにちは鳥取市です』【放送】毎週金・土

鳥取市の施策や事業の取り組み状況、各種行事、お知らせを紹介します。

【特集】

今年はいんしゃんウィーク
「第46回鳥取しゃんしゃん祭」
山陰海岸ジオパーク
夏のイベント

貝がら祭り、いんしゅう鹿野盆踊りなど



対談「中島諒人 鳥取市長と語る」

【特別番組】

対談「中島諒人 鳥取市長と語る」

放送：8月3日～7日 14:00～14:30

静止画文字情報

『鳥取市からのお知らせ』【放送】毎週日・月・水・木



イベント・募集・相談などの各種お知らせを、文字画面と音声でご案内します。

いなばぴよんぴよんネット

.....自主制作番組.....

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木

ブドウや早生梨、夏野菜などの収穫や、特産の砂丘らっきょうの植え付けが最盛期を迎えた話題を紹介します。

地域情報番組『とっとりウオーキング』【放送】毎週日・月

市内各地の旧暦の七夕やお盆の行事、子どもたちの夏休みの様子などを紹介します。

生活情報番組『ぴよんぴよんワイド』【放送】毎週火

子育てや健康をテーマに、暮らしに役立つ情報や話題をお届けします。

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月

ニュースや話題、行事、お知らせを手話や字幕で紹介します。

地デジの準備をお願いします！

アナログ放送は平成23年7月24日に終了し、地上デジタル放送に完全移行します。そのままではアナログテレビは何も映らなくなります。詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

情報をお寄せください！

いなばぴよんぴよんネット ☎ 0857-22-6111

放送予定は予告なく変更することがあります。番組の放送時間は、ホームページまたはデジタル放送の電子番組表(EPG)をご覧ください。
<http://www.inabapyonpyon.net>



お客さんと一緒に品定め

ます」と語る藤田桂介さんも販売担当。お客さんの切れ間をみては野菜を並べ替え、売り方を工夫します。

「野菜を売れ残りなく販売し、農家を喜ばせたい」と語る小谷彰博さんと「活動を通じて農家との交流が広がりました」と語る花田卓也さんは主に会計を担当していただきます。販売担当のメンバーから買利物

笑顔のすてきな若者たち

かごを受け取ると手際よく計算し、品物を丁寧に接客する持参のマイバッグに納めます。向山さんに今日の売れ行きを尋ねると、「キュウリと玉ねぎが売り切れました。ニンジンとニラとサラダ菜が苦戦しています。値下げを判断しています」。値札の差し替えを行いました。定番の人気商品を探ねると「乾燥パセリと鷹の爪はいつも人気です」と。みなさんは現在大学3年生。あと半年もすれば就職活動が始まり忙しくなるそうです。

これまでの活動は、中山間地域の農産物を中心市街地へ持ってくる一方通行的な活動でしたが、今後はその逆も行ってみたいとのこと。「中心市街地の情報発信を中山間地域に向けて行ってみたいですね」と夢はふくらみます。

「買利物を終えたお客さんに感想を尋ねると、「もっと品数を充実させてほしい」「産直市の予定をPRしてほしい」「ハーブなど珍しい野菜を扱ってほしい」など、たくさん声が寄せられました。中には魚も扱ってほしい」という意見もあり、「一度アンケートを

取ってみたい」と新たな展開を模索します。次回は8月15日(日)の午前8時30分から正午頃まで、売り切れ次第終了します。MABは現在男ばかりの13人。ただいま女子メンバーを募集中です。

カラフルなつなぎ服と笑顔のすてきな若者たちに、お客さんからも思わず「がんばって」の声か。農家とMABとお客さん三者の思いは、夏の暑さを吹き飛ばし、中山間地域に本来の活気を取り戻させてくれることでしょう。